

ここが見どころ読みどころ

『ところざわ歴史物語 増補改訂版』解説講座

2022-03-10 記 小倉洋一

■実施日：2022-03-03(木)

■参加者：27名

■生涯学習推進センター1F多目的室

■講師：木村立彦氏

本書は、平成17年度に「所沢市史」のダイジェスト版として発行された「ところざわ歴史物語」に、その後発見された資料や最近の動向など新たな項目を加え、増補改訂版として市制70周年を記念して刊行されました。

今回の講座は、増補改訂版を刊行した担当者の一人である木村立彦氏に講師をお願いして解説していただきました。



本日の講座のレジュメは以下の通りでした。

はじめに

1. 初版本の経緯
市史の普及
2. 増補改訂版の経緯とポイント
初版本完売、刊行後10年以上経過
平成18年以降の歴史の追加、増補ページの追加
図表の追加、初版本の見直し
3. 増補ページ解説(主なもの)
災害の記憶、くらしの変化
トピックス・・・アンリ・ファルマン機

徳川家康知行宛行状

鹿島岩吉

左 ト全

おわりに

1. 初版本の経緯

所沢市史ダイジェスト版『ところざわ歴史物語』は、昭和48年から20年の歳月をかけて刊行した『所沢市史』全14巻の内容をコンパクトにまとめ、平成18年3月20日に発行されました。図版や写真をふんだんに盛り込んだ親しみやすい内容で、平成31年に完売しました。

2. 増補改訂版の経緯とポイント

令和2年11月3日、所沢市が市制施行70周年を迎えたことを記念して、平成18年度以降の情報を新たに加えた増補改訂版が発行されました。

・災害の記憶、

1)地震

所沢の地震の記録はほとんど残っていません。地震による大きな災害がなかったからと思われる。記録としては個人の日記として残っているものがあります。

2)気象災害

風水害は台風やそれ以外の低気圧の接近によってもたらされます。

特に柳瀬川は、現在より水量が多く、台風や長雨が続けば氾濫しました。

3)火災

火災に関する記録は多く残っています。江戸時代は宿継ぎ場として家が密集していて、いったん火が付けば隣家に類焼し大火となりました。明治時代は織物の集散地として賑わい、町場での火災は広範囲に及んでいました。戦後の火災は工場やスーパーといった大規模火災に特徴がみられます。

・くらしの変化、

第2次世界大戦後、社会の急速な変化とともに生活の変化も著しく、なかでも、家庭用品の電化、自動車の普及は、私たちの生活を大きく変えました。

1)電化製品の普及

戦後電気の普及により家庭の電化が急速に進み昭和30年代には「三種の神器」と呼ばれる、洗濯機、冷蔵庫、テレビが普及して、昭和40年代になると、3Cと呼ばれる、カラーテレビ、クーラー、自動車が家庭で買い揃えられていきました。

※トピックス

1)スペインかぜと所沢

今から100年ほど前の大正7年(1918)、世界で数千万人、日本で25万人が感染死亡したといわれるスペインかぜは、所沢市域も襲っていました。当時の新聞によれば、感染者は所沢町1,621人、吾妻村80人、山口村500人、小手指村300人、松井村320人、柳瀬村30人、富岡村100人、三ヶ島村150人と報道されています。

2)航空発祥100周年とアンリ・ファルマン機

令和元年(2019)にフランス航空教育団来日 100 年を記念して、所沢航空発祥記念館での展示が実現し、74 年ぶりの里帰り公開となりました。

3)旗本中根氏

江戸時代、久米村を支配した領主の一人。中根氏は徳川家康が三河にいたころから仕えていて、家康が関東へ入国した際、久米の地に 200 石の知行地を与えられました。久米の長久寺には最初に領主となった中根伝七郎正重の 200 回忌に建てられた墓があります。幕末には 6,000 石の大身の旗本でありました。

その他、トピックス



木村先生によるこれまでの講座・テーマは

2014 年 1 月～毎年 1 回、今回で 8 回の講座をお願いして所沢の歴史を学んでいます。

「武蔵野話と斎藤鶴磯」①、②

「江戸期の所沢市域の領主と支配」、「武州世直し一揆」、「幕末期の所沢商人」

「新編武蔵風土起稿に見る所沢村」、「武蔵野新田開発と所沢市域の開発」

「ところざわ歴史物語 増補改訂版」解説

この「ところざわ市史ダイジェスト版 ところざわ歴史物語 増補改訂版」を学ぶことにより、大半が所沢市外出身者の、ところざわ倶楽部会員の皆様も所沢の歴史を概略修得することが出来ます。

なお、詳細を知りたい方は下記刊行物を図書館などで学んだらよいと思います。

所沢市史刊行物一覧

原始・古代史料、中世史料、近世史料 I、近世史料 II、近代史料 I、近代史料 II、 現代史料

地誌、社寺、文化財・植物、民俗、上、下、 写真集 所沢

所沢市史研究 第 1 号～第 23 号、所沢市史調査資料 1～37、所沢市史調査資料別集 1～17

担当 Dグループ

青木、山本、大越、猪木、清水、曾部、喜多、粟屋、小倉